

《新着本の紹介》

読書の秋到来！ 新刊も続々入荷！



『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬隼子 講談社

☆芥川賞 受賞



『夜に星を放つ』

窪美澄 文藝春秋

☆直木賞 受賞



『ハヤブサ消防団』

池井戸潤 集英社



『世界のアーティスト250人の部屋』

青幻舎インターナショナル



『なりたい自分との出会い方』

岡本啓史 岩波書店

Information

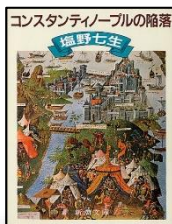
高3 必見!!

10月頃より赤本入荷予定です。
赤本の貸出・閲覧が可能になります！
皆様のご利用をお待ちしています。



* 今月号は笹谷先生と図書室から一冊ずつ、皆さんにおすすめの本をご紹介します。

私の1冊



『コンスタンティノープルの陥落』
塩野七生(著) 新潮社
(推薦者 高1理科 笹谷先生)

長編歴史小説『ローマ人の物語』で知られる塩野七生の『コンスタンティノープルの陥落』を紹介します。

西暦1453年。ローマ帝国の流れをくむビザンティン帝国の首都であるコンスタンティノープルは、オスマン帝国の大軍に包囲されます。キリスト教国であるヨーロッパの各国は、それぞれ事情を抱えており、全面的な援軍を送ることに躊躇します。

前半では、両国の皇帝に続き、「現場証人」として、様々な人物が紹介されます。ヴェネツィアの海将、フィレンツェの商人、セルビアの騎兵隊長、ローマの枢機卿など複数の国の人々です。彼らを通して、複雑な中世ヨーロッパの情勢が分かりやすく記述されます。

後半では、戦いの様子が克明に語られます。多国籍軍となった守備側は劣勢でありながら、難攻不落の城塞は、なかなか陥落しません。そこで、攻撃側は大掛かりな奇策を繰り出します。

最後には、実在の「現場証人」たちの戦後の人生にも触れられています。陥落後、コンスタンティノープルは、イスタンブールとなり、現在までトルコの首都であり続けています。東への道を断られたキリスト教国は、大西洋へ進出し、大航海時代を迎えます。中世と近世の境で起こった歴史的な大事件です。

作者は、イタリア政府から功労勲章を授かっています。気に入れば、『ロードス島攻防記』『レパントの海戦』と読み進んでください。

今月の特集



『ものは言いよう』
ヨシタケシンスケ(著)

MOE 編集部

数々の絵本賞を受賞している大人気絵本作家ヨシタケシンスケさん。雑誌『月刊 MOE』で二度にわたって組まれたヨシタケシンスケ特集を加筆修正し、書き下ろしをくわえたインタビュー&エッセイ集です。ユニークな『ヨシタケシンスケのしくみ』『ヨシタケシンスケができるまで』『ヨシタケシンスケの一日』などのイラストや、スケッチ、アトリエ、本棚、お気に入りの本などの写真も満載。「ボローニャ紀行」では海外旅行の描写が面白すぎて抱腹絶倒間違いなし！ファンはもちろん、絵本が好きな人にも楽しんでもらえる一冊です。図書室ではヨシタケシンスケさんの特集もしています。ぜひ、手にとって見てくださいね。